



おちかこうみんなんだより

第155号 令和元年9月2日発行

へっばくぞ！えらかさるんな！ ～賢い消費者になるために～



8月2日（金）、離島開発総合センターにおいて熟年大学第4回講座「消費生活支援講座」を開講しました。17名の参加者と共に、役場産業振興課・中村主事補の説明やプロジェクターの映像を見ながら、悪質商法の手口、私たちがえらかされないためにできることについて学びました。

講座を通して、悪質商法にえらかされないためには、「必要ないものはハッキリと断る」、「その場で契約しない」といった心構えやクーリングオフ制度についての理解、そして何よりも「一人で悩まずに相談する」ことが大切であることが分かりました。

他にも自分がえらかされやすいかの心理チェックや桃太郎のメロディーで悪質業者に負けないための応援ソングを歌ったり、楽しみながら学ぶことができました。

負けません 悪質業者の悪だくみ みんなの「絆」でゲキタイだ

（応援ソング4番の歌詞より）



スポーツ、芸術・・・山学校は「工作の秋」！！

おちか山学校では、台風の影響で延期となっていた「ペットボトル風力発電機工作教室」を下記のとおり開催させていただきます。

【日 時】 9月14日（土）10：00～12：00

【場 所】 離島開発総合センター

【講 師】 松岡 和彦 准教授（長崎総合科学大学）

・参加者一人につき空のペットボトル（500ml）を一本ご持参ください。（こちらでも予備を準備します。）

※申込・問合せは教育委員会 西（56-3838）までお願いします。



囲碁はじめました。

「小値賀将棋愛好会」は、先月より「囲碁を楽しむ会」と共同で活動しています。将棋と囲碁の両方、または片方だけ興味があるという方、見学だけでも大丈夫ですのでぜひ一度お越しください。

【日 時】 第2、4日曜日 14～17時
（時間内は自由に入退室できます。）

※9月の開催日は8日のみとなります。

【場 所】 離島開発総合センター1階娯楽室
・参加無料、年齢・経験不問、みなさんの参加をお待ちしております。

※お問い合わせは

将棋愛好会 松原（56-3883）

囲碁を楽しむ会 浦（080-5285-6503）

までお願いします！



～図書館からのご案内～

「戦争と平和展」を開催しました

小値賀町公民館との共催事業として、8/6（火）～20（火）の2週間、「記憶をつなぐ・・・戦争と平和展」を開催しました。唐見崎で見つかった機銃掃射された松、菜菔、干本針の服、原爆パネルなど歴史民俗資料館や原爆資料館から借り受けた資料等の展示と合わせて、原爆関係の図書の展示・貸出も行いました。来場者名簿に氏名を記入していただいた方が96名。無記名者も含めると100名以上の方が展示を見に来館されました。

又、8/8（木）には「平和のための読み聞かせと証言の会」を開催しました。当町学芸員の平田係長の進行の下、終戦前日の8月14日、午前10時過ぎ頃に米軍機4機による機銃掃射された唐見崎地区における空襲体験を、崎山信好さん、崎山代志子さん、古川トミヨさんに語っていただきました。空襲を受けた時の状況や心境、空襲で犠牲となった旧日本軍の方々の人柄や様子など、当時、8歳、12歳、20歳と年齢は様々ですが、それぞれが記憶している事柄を聞き、戦争があった事は知っていても、小値賀のような小さな島においてもアメリカ軍による空襲があった事に、参加された方々は驚かされていました。最後に、社会貢献研修で図書館に来られていた北松西高校の上戸先生に、絵本『へいわってすてきだね』の読み聞かせをしていただきました。参加人数は14名と少なくはありましたが、参加された方々からは、「身内に戦死者がいる。唐見崎で犠牲となった旧日本軍の方の亡くなり方を聞いて、最後がこんなだったのかなと思うと胸が詰まる。学校でも話をしてみたいと思った」などの感想を話されていました。崎山さんや古川さん方から次の世代に伝えたい事として、「戦争は絶対しちやいかんと思う。どちらかが死ぬことですから。」「平和になってほしかった。」「今の平和がある事を感謝してください。」「と言葉がありました。当時を知り、そして実際に戦争を体験した方々の言葉には、私たちが日頃何気なく使っている「平和」という言葉とは違い、言葉に込められた思いの強さを実感させられました。



上戸先生おすすめ本展示中

中高生向けにコーナー展示しています！



アイシングクッキー教室を開催しました！

8/20（火）に子ども向けお菓子作り教室「アイシングクッキー教室」を開催しました。今回は講師にtan tanオーナーの山本さんにクッキーに絵や文字を描くアイシングを教えてくださいました。台風接近により延期になっていた教室でしたが、子どもたちも楽しみにしていたようで、開館時間前から待っていました。作業に入ると何もしゃべらず真剣に描いていく子供たち。それぞれの個性が出たかわいいクッキーが出来上がりました！



遊遊句抄

8月【兼題】 文月（ふづき・ふみづき）、
流星、南瓜（かぼちゃ）

文月や囁く程の朝の風
番岳に大の字に寝て流れ星

百笑

銀河へと線路を描く流れ星
塩なめつ文月暇なき和尚かな

増円

ひとつだけカボチャ畑の王様だ
流れ星ねがう間もなく消えて行く

小梅

文月夜やにぎやかな声孫来たか
南瓜煮てまずい旨いは友の箸

利石

文月や数多願いの笹重げ
星飛ぶや去りし句友の句に浸る

一穂

文月の足裏焦げる浜辺かな
ひふみよと友を喪ひ星流る

月歩

文月や手箱にありし母の手記
未生りもやはり愛しや吾が南瓜

値賀助

値賀の島育ち南瓜のよか嫁女
天の友まだくるなよと流れ星

虫砂男

潮だまり文月の波にのまれけり
友見舞い帰る文月の島黙る

紫紅

文月や寝床に誘ふ海の風
文月や寝床に誘ふ海の風

香松

文月や文書繙く至福時
ただひとつ雌花付けた庭南瓜

松月